

### ●性暴力被害：個別事例調査票

平成23年度中に、性暴力被害問題について対応した事例つき、**1児童ごとにご回答ください。**

- 対象となる児童は、  
1) 当該年度中に以下の相談受理・相談対応があったケース  
2) 当該年度以前の相談受理で当該年度中に1)と同じく対応が続いているケース  
の両方を対象とします。

#### 対象となる性暴力被害事例

- 性暴力による被害性が、児童福祉の観点からあると貴児相が判断する事例を対象としてください。  
親権者・保護者・監護責任者による「性的虐待」、その他の家族・親族・同居人からの「家庭内性暴力被害」、および、家庭外の、大人から、子どもからの「家庭外性暴力被害」(性犯罪被害や校内・施設内被害を含む)、及び児童買春や児童ポルノ問題・子どもの性的画像制作への関与等、に関する被害事例です。
- 相談の主訴に性暴力被害が含まれていなくても、相談対応、支援途上で上記内容に該当するエピソードがある事例は分かる範囲でご回答下さい。例えば療育手帳ケース等の性犯罪被害事件に関する刑事訴訟法による情報提供依頼の事案なども把握できている範囲内でご回答下さい。

注意事項等：以下のような事例内容ごとに、記載票を分けています。

該当する回答票に記載をお願いいたします。

：回答用紙が足りない場合は、大変恐縮ですが、貴機関において複写していただけるよう、よろしくお願ひいたします。

**個票A**：在宅で何らかの性暴力被害問題について対応した事例の性暴力被害についての初期対応についてお答えください。

- 在宅で性的虐待相談・家庭内性暴力被害相談として通告受理し、相談対応した事例。
- 在宅で性的虐待以外の虐待、あるいはその他の相談で対応が開始された事例で、その当初から、あるいは対応途上で性的虐待、家庭内性暴力被害についても相談対応した事例。
- 在宅で何らかの家庭外性暴力被害についての対応があった事例(児童買春・児童ポルノ事案も含む：性暴力被害を主たる相談としたもの、主相談に付随して性暴力被害が判明した事例も含む。)
- 別件で在宅から一時保護中に何らかの性暴力被害問題が発覚した事例。この中には、一時保護以前の家庭内性暴力被害が発覚した場合と、一時保護後に発生した性暴力被害の場合を含みます。

**個票B**：すでに施設入所中の事例で、性的虐待、家庭内性暴力、家庭外性暴力被害が途中発覚した事例の被害発覚に対する初期対応についてお答えください。

- 過去、または現在も続いている性的虐待、家庭内性暴力被害についての施設入所後の発覚事例。
- 過去、または現在も続いている家庭外性暴力としての、施設内性暴力、校内性暴力、施設外での性暴力被害、児童買春・児童ポルノ事案が施設入所後に発覚した事例。
- 性暴力被害以外の理由で施設入所後に一時保護した事例で、一時保護後に上記事態が発覚した場合、一時保護以降に発生した性暴力被害の場合を含みます。

個票Bのうち、

問題発覚を理由に一時保護した場合、および  
別件で施設から一時保護した後に性被害が発  
覚・発生した場合

家族・親族からの性暴力被害→**個票B-1**

それ以外の家庭外性暴力被害→**個票B-2**

への記載をお願いいたします。

問題発覚後も同施設に入所継続の場合

家族・親族からの性暴力被害→**個票B-3**

それ以外の家庭外性暴力被害→**個票B-4**

## 記入にあたって

\* 18a～ 32a～ 以降「a」がついた項目すべてで

→各段階で確認されている被害内容分類について：項目 No.に a のマークがついている項目について

非接触被害には性行為の目撃や、DVD や印刷物によるポルノ画像等への接触も含みます。

接触被害(挿入不明)(非挿入)(挿入被害) ここでの「挿入」とは、口、肛門、性器への何らかの挿入行為全てを指します。判明しているレベルでご回答下さい。

## \*\* Q51

→性的虐待対応ガイドラインの中の一時保護の保護者告知の 7 項目を指しています。

### 保護者への告知 7 項目

調査保護としての職権による一時保護では、できるだけ速やかに保護者に以下の告知(6 項目 + 1)を行う。

1. 児童福祉法第 33 条に基づく職権保護である。家庭内性暴力被害の疑いを確認したことにより、子どもの安全と公平な調査のため身柄を保護した。保護の場所については適切な時が来たら告知する。
2. 誰からの干渉や影響も受けないで子どもに調査を行うため、関係者との接触をしばらく遮断する。子どもの安全が確認されない限り家庭には返せないが子どもの安全について責任ある保護者としてこの保護と調査に協力してほしい。
3. 調査は本人への面接調査、心理査定、婦人科・児童精神科等の医師の診察、保護者・家族、関係者への調査を行う。
4. 調査状況、本人の状況は隨時保護者への調査と併せて知らせる。
5. 一定の調査が一段落したら、その時点で事後の方針を立て、児相として保護者とも協議する。概ね調査の期間は 3 週間程度。
6. 保護者には一時保護という行政処分に対する行政不服審査請求の権利がある。行政不服審査請求は監督官庁を窓口として手続きを行う。

以下の項目はその告知が必要な事例についてのみ行う

7. 子どもを一時保護している環境には様々な子どもが生活しており、その生活環境については最大限専門的な対応を行っているが、子ども自身の行動や周囲の人間関係等においてトラブルが起こる可能性は全くないとは言えない。何らかのトラブルが生じた際には速やかに保護者にも伝える。

**項目番号に「m」**があるものは複数回答が想定されている項目です。

それ以外の項目は例外的な場合を除き、原則として優先 1 項目の選択を想定しています。

## 個票 A…相談受理時在家(別件一時保護中を含む)の事例 事例No( )

■相談受理時・問題発覚の段階で在宅状態で性暴力被害について対応開始した事例について					
No.	設問内容	回答欄(あてはまるものに○、または記述)			
<b>■基本情報</b>					
1	最初の問題発覚時期	1.平成23年度中 2.平成23年度以前からの継続			
2	当時の子どもの居場所	1.在宅 2.在宅から別件で一時保護中			
3	主たる被害の種類 (いずれか一つ選択)	1.性的虐待 2.家庭内性暴力被害(親族、同居状態の加害者からの被害含) 3.家庭外性暴力被害(家族・親族以外で同居していない加害者からの被害) 4.別件一時保護中の家庭外性暴力被害 5.不特定者からの被害 6.その他重複被害( )			
4 m	性暴力被害以外の問題 (複数回答可)	虐待	1.身体的虐待 2.ネグレクト 3.心理的虐待 4.DV問題		
		その他	5.養育困難 6.障害問題(知的) 7.(身体) 8.(聴覚) 9.(視覚) 10.(重心) 11.(発達障害) 12.(自閉) 13.6~11以外の障( ) 14.性格・行動 15.育成 16.非行 17.その他( )		
5 m	特別な随伴問題(有に○)	1.児童ポルノ・画像問題(疑い含む) 2.児童買春・援助交際(疑い含む)			
6	相談受理時の年齢	歳	か月 ←全事例:性暴力での受理時の年齢(年度に関係なく)		
7	前年度からの継続事例の場合	歳	か月 ←23年4月2日当該年度として <b>※Q.9にも記入</b>		
8	相談受理時の年齢区分	1.0~3歳未満 2.3歳~就学前 3.小学1~3年 4.小学4~6年 5.中学生 6.高校生・その他中卒年齢			
9	平成23年4月2日時点での年齢区分 <b>※Q.7のケース</b>	1.0~3歳未満 2.3歳~就学前 3.小学1~3年 4.小学4~6年 5.中学生 6.高校生・その他中卒年齢			
10	性別	1.女性 2.男性			
11	相談経過	1.新規相談 2.別件での相談継続中 3.過去に同種の相談歴あり 4.過去に別種の相談歴あり			
12 m	加害者の区分(疑い含む) (複数回答可)	1.実父 2.養父 3.継父 4.内縁男性 5.きょうだい男性 6.祖父 7.おじ 8.その他親族男性 9.同居人男性 10.実母 11.養母 12.継母 13.内縁女性 14.きょうだい女性 15.祖母 16.おば 17.その他親族女性 18.同居人女性 19.その他養育関係者(里親含)男性 20.その他養育関係者(里親含)女性 30.教育関係者(成人男性) 31.教育関係者(成人女性) 32.教育関係者(児童男性) 33.教育関係者(児童女性) 40.施設関係者(成人男性) 41.施設関係者(成人女性) 42.施設関係者(児童男性) 43.施設関係者(児童女性) 50.家族・親族・関係者以外の顔見知り男性 51.見知らぬ男性 52.家族・親族・関係者以外の顔見知り女性 53.見知らぬ女性 60.詳細不明男性(単数) 61.詳細不明男性(複数) 62.詳細不明女性(単数) 63.詳細不明女性(複数)			
		13	被害者と加害者の居住・接触程度 (担当者の感触の範囲可)	1.同居 2.同居に近い状態 3.同居・別居を繰り返す 4.別居:日常的に頻繁に接触 5.別居:定期・不定期に接触 6.ごくたまに接触 7.接触程度不明	

個票 A 相談受理時在家(別件保護中を含む)事例

■通告・発覚、初期対応と調査		
14	性暴力被害の通告の有無	1.あり 2.なし ※「あり」の場合 Q15~ 「なし」はQ28へ
15	相談・発覚、通告経路 ※複数の通告経路があった場合は、発覚元となった最初の経路を記載	1.保育所・幼稚園・学校 2.福祉事務所 3.児童本人 4.家族 5.親戚 6.近隣・知人 7.友人 8.児童委員 9.保健所・保健センター 10.医療機関 11.児童福祉施設 12.警察 13.その他( )
16	市町村からの送致・通知	1.あり 2.なし
17	通告内容	1.具体的な被害事実の告白 2.曖昧な被害の疑い告白のみ 3.周辺・関連情報からの疑い 4.問題行動から 5.目撃・物証から
18a*	通告時点での性暴力被害内容	1.何らかの被害・詳細不明 2.非接触被害 3.接触被害(挿入不明) 4.接触被害(非挿入) 5.接触被害(挿入被害)
19a m	随伴する問題	1.妊娠(中絶) 2.妊娠(出産) 3.性感染症
20a	19a の問題があった際の対応	
21a	被害全体の時期・期間	1.現在も被害継続(危険性含) 2.過去の被害(現在の危険性無し) 3.断続的(再発の危険性あり) 4.不明
22a	性暴力被害の頻度	1.常態化(可能性含) 2.断続的 3.単回 4.詳細不明
23a	児童ポルノ画像等の問題	1.あり 2.なし
24a	被害申告の撤回の有無	1.あり 2.なし
25	本人が保護を求めている	1.あり 2.なし
26	児童買春 援助交際問題	1.あり 2.なし
27	初期調査、確認方法	1.相談所が直接面接 2.通告者に追加確認依頼 3.当面周辺調査 4.警察からの通告で既に事実確認されている
■児童相談所が直接、初期調査を実施した場合		
28	子どもとの接触場所	1.通告のあった子どもの所属機関等 2.子どもの身柄を確保できる任意の場所 3.児相 4.家庭訪問して
29m	面接者(複数回答可)	1.担当児童福祉司 2.担当児童心理司 3.担当以外の職員
30	面接者の人数設定	1.複数対応 2.単独対応
31	面接者の性別	1.男女混合 2.男性のみ 3.女性のみ
32a	通告時点での性暴力被害内容	1.何らかの被害・詳細不明 2.非接触被害 3.接触被害(挿入不明) 4.接触被害(非挿入) 5.接触被害(挿入被害)
33am	随伴する問題	1.妊娠(中絶) 2.妊娠(出産) 3.性感染症
34a	33a の問題があった際の対応	
35a	被害全体の時期・期間	1.現在も被害継続(危険性含) 2.過去の被害(現在の危険性無し) 3.断続的(再発の危険性あり) 4.不明
36a	性暴力被害の頻度	1.常態化(可能性含) 2.断続的 3.単回 4.詳細不明
37a	児童ポルノ画像等の問題	1.あり 2.なし
38a	被害申告の撤回の有無	1.あり 2.なし
39	初期調査の結果	1.通告以上・以外の性暴力被害の疑いを確認 2.通告にあった性暴力被害の疑いを確認 3.何らかの被害の疑いあり 4.性暴力被害の疑い確認できず・不明 5.性暴力被害の可能性低い 6.子どもが調査拒否(疑い確認できず)

個票 A 相談受理時在家(別件保護中を含む)事例

■調査保護の判断		
40	一時保護の実施	1.性暴力被害に関する安全確保と調査目的での保護 2.性暴力被害を含め一般的な一時保護要件での保護 3.性的暴力被害以外の要件での保護 4.既に別件保護中 5.保護なし ※「5.保護なし」はQ41へ その他はQ45～～
	一時に抵抗あっても最終的に一時保護した場合は保護とする。	
■一時保護しなかった場合		
41	一時保護しない理由 (主な理由ひとつ)	1.確証・根拠が弱い 2.本人が強く抵抗している 3.一保の状況のため 4.その後の展開が読めない 5.子どもの安全が確保されている 6.その他
42	以後の対応	1.児童福祉司指導 2.継続指導 3.調査継続 4.終結 ※4以外はQ43～
43	主担機関	1.児童相談所 2.要対協・市町村 3.その他( )
44	H23年中の以後の対応	1.あり 2.なし
■一時保護した場合		
45	一時保護の保護者同意	1.当初：同意による保護 2.当初：職権による保護
46	最初の一時保護の場所	1.一時保護所 2.委託一時保護(里親) 3.委託一時保護(施設・病院等)
47	一時保護の期間(総日数)	日 保護継続中 (基準日：平成24年3月末日)
48	接触制限の有無	1.保護先の秘匿 2.通信・面会の制限 3.検討中 4.制限なし
■保護者への一時保護の告知		
49	告知面接の実施	1.実施 2.未実施(電話告知) 3.(郵便通知) 4.他( )
50	面接の相手	1.加害親と非加害親 2.非加害親のみ 3.加害親のみ 4.その他( )
51	告知内容** 該当項目に○	ガイドライン項目中 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 他( )
52	ガイドライン冊子の使用	1.「保護者のために」使用 2.一部改変して使用 3.独自冊子使用 4.使用せず
■被害事実調査		
53	被害事実確認面接の実施	1.あり 2.なし(初期調査のみ) ※「あり」の場合Q72まで、「なし」はQ54のみ
54	2.なしの場合	1.必要無い(被害確認できている) 2.面接技術者が不足 3.面接技術者不在
55	発覚から	日目
56	面接法	1.NICHID 2.RATAC® 3.その他技法( ) 4.慎重に設定された面接 5.一般的な調査面接として実施
57	被害事実確認面接回数	1.1回 2.( )回
58	被害確認面接実施場所	1.一時保護所 2.児相 3.その他の場所( )
59	面接の実施者	1.担当児童福祉司 2.担当児童心理司 3.担当外の児童福祉司 4.担当外の児童心理司 5.警察官 6.検事 7.他( )
60	面接者の設定 人数	1.複数対応 2.単独対応
61	面接者の設定 性別	1.男女混合 2.女性 3.男性
62	バックスタッフの設定	1.あり 2.なし ※「あり」の場合Q63～「なし」の場合Q64
63 m	バックスタッフメンバー	1.児相職員 2.警察関係者 3.その他( )
64	記録方法	1.録画・録音+文書おこし 2.録画・録音のみ 3.録音+文書おこし 4.録音のみ 5.メモ記録のみ
65	面接結果	1.性暴力被害事実の開示あり 2.性暴力被害の強い疑い(解離反応等含む) 3.性暴力被害を確認できず 4.性暴力被害無しを確認 5.子どもが調査拒否
66a	面接確認した性暴力被害内容	1.何らかの被害・詳細不明 2.非接触被害 3.接触被害(挿入不明) 4.接触被害(非挿入) 5.接触被害(挿入被害)
67a m	随伴する問題	1.妊娠(中絶) 2.妊娠(出産) 3.性感染症

個票 A 相談受理時在家(別件保護中を含む)事例

68a	67a の問題があった際の対応	
69a	被害全体の時期・期間	1.現在も被害継続(危険性含) 2.過去の被害(現在の危険性無し) 3.断続的(再発の危険性あり) 4.1回のみの被害 5.不明
70a	性暴力被害の頻度	1.常態化(可能性含) 2.断続的 3.単回 4.詳細不明
71a	児童ポルノ画像等の問題	1.あり 2.なし
72	被害申告の撤回の有無	1.あり 2.なし
<b>■医学診察</b>		
73	医療診察の実施	1.あり 2.なし ※「あり」の場合 Q92まで続きます
74	発覚から	日目
75	診察科と 担当医師の性別  該当する診療科に○ 男女に○	1.婦人科 1.男 2.女
76		2.精神科 1.男 2.女
77		3.小児科 1.男 2.女
78		4.法医学 1.男 2.女
79		5.泌尿器科 1.男 2.女
80		6.その他 1.男 2.女
81 m	被害診察の内容	1.性暴力被害についての身体診察 2.身体的虐待被害を含む全身診察 3.精神科・心理面の診察 4.その他( )
82	被害診察の結果(身体)	1.具体的な被害所見あり 2.被害を疑わせる所見のみ 3.具体的な被害不明・矛盾所見無し 4.矛盾所見あり別な被害の疑い 5.矛盾所見あり被害を否定
83	被害診察の結果(心身)	1.何らかの被害症状の所見あり 2.被害症状所見なし 3.被害との関係不明の問題・症状あり 4.問題・症状確認せず
84a	医学診察によって確認された性暴力被害内容	1.何らかの被害・詳細不明 2.非接触被害 3.接触被害(挿入不明) 4.接触被害(非挿入) 5.接触被害(挿入被害)
85a m	随伴する問題	1.妊娠(中絶) 2.妊娠(出産) 3.性感染症
86a	85a の問題があった際の対応	
87a	被害全体の時期・期間	1.現在も被害継続(危険性含) 2.過去の被害(現在の危険性無し) 3.断続的 4.1回のみ 5.不明
88a	性暴力被害の頻度	1.常態化(可能性含) 2.断続的 3.単回 4.詳細不明
89a	児童ポルノ画像等の問題	1.あり 2.なし
90a	被害申告の撤回の有無	1.あり 2.なし
91	医師から子どもへの直接助言	1.あり 2.なし
92		1.診察結果のみ 2.身体的な発達の健康告知含む
<b>■ 関係者 面接調査</b>		
93	加害者(疑い)	1.あり 2.なし ※「あり」の場合 Q 98へ
94	非加害保護者	1.あり 2.なし ※「あり」の場合 Q 99へ
95	親以外の家族・同居人	1.あり 2.なし
96	祖父母・親族	1.あり 2.なし
97	その他関係者・知人	1.あり 2.なし
<b>■ 関係者 調査結果</b>		
98	加害者(疑い)	1.加害事実を認める 2.一部加害事実を認める 3.行為は認めるが加害性を認めず 4.事実確認に至らず・全面否認

個票 A 相談受理時在家(別件保護中を含む)事例

99	非加害保護者	1.被害事実を確認する 3.事実は認めても被害を認めず	2.一部被害事実を認める 4.事実確認に至らず・全面否認
100	その他の関係者から	1.被害事実の有力証言・情報を確認 3.事実について否定的な情報を確認	2.被害事実を疑わせる情報を確認 4.有力情報なし
101	家庭内性暴力の場合 パートナー間のDV問題	1.DV 関係あり 3.DV 様支配関係の疑い	2.DV 様支配関係あり(当事者認めずとも) 4.DV 様関係認めず
<b>■初期調査からの総括被害評価</b>			
102a	確認された被害内容	1.何らかの被害・詳細不明 2.非接触被害 3.接触被害(挿入不明) 4.接触被害(非挿入) 5.接触被害(挿入被害)	
103a m	随伴する問題	1.妊娠(中絶) 2.妊娠(出産) 3.性感染症	
104a	103a の問題があった際の対応		
105a	被害全体の期間	1.現在も被害継続(危険性含) 2.過去の被害(現在の危険性無し) 3.断続的(再発の危険性あり) 4.不明	
106a	性暴力被害の頻度	1.常態化(可能性含) 2.断続的 3.単回 4.詳細不明	
107a	児童ポルノ画像等の問題	1.あり 2.なし	
108a	被害申告の撤回の有無	1.あり 2.なし	
109	初発被害から発覚まで	概ね 年	か月
<b>■非加害保護者対応</b>			
110	非加害保護者への支援	1.特に意識して実施 2.一般相談として実施	
111	ガドライン冊子の使用	1.使用した 2.一部改変して使用 3.別のものを使用 4.使用せず	
112	被害児支援について	1.積極的に支援 2.一部制限付き支援 3.葛藤・拒否感あり 4.拒否	
<b>□加害者がパートナー・家族・親族であった場合 非加害保護者の態度・行動</b>			
113	加害者排除について	1.加害者を積極的に排除・離別 2.加害者と一時的に別居・交流停止 3.加害者排除せず・できず 4.加害者を積極的にかばう	
<b>□加害者がパートナー・家族・親族以外の第三者であった場合の非加害保護者の態度・行動</b>			
114	加害者排除について	1.加害者との接触を積極的に遮断 2.加害者との接触を一時的に遮断 3.加害者排除せず・できず 4.加害者を積極的にかばう	
<b>■加害者対応</b>			
115	加害者への接触・対応の有無	1.あり 2.なし	
116	指導形体	1.一般的助言・指導 2.個別カウンセリング 3.グループ指導への参加	
117	加害者の反応	1.指導に従う(積極的～表面的) 2.指導に応じず(消極的～拒否) 3.不安定 4.その他	
<b>■ 一時保護以降の対応</b>			
118	一時保護以降の身柄	1.引取り (Q119 へ) 2.施設入所 (Q123 へ) 3.現在一時保護中	
119	引き取り先	1.もとの家庭 2.加害者のいない自宅 3.親族宅 4.その他	
120	引取りの理由 (主たる理由)	1.被害が確証されない 2.子どもが帰宅を強く望んだ 3.無外のまま戻らず調整 4.適切な施設が見当たらず 5.子どもの安全が確保された 5.その他	
121	以後の対応	1.児童福祉司指導 2.継続指導 3.調査継続 4.終結	
122	引き取り後の問題再発	1.あり 2.疑い 3.不明 4.無し 5.別の問題 ( )	

個票 A 相談受理時在宅(別件保護中を含む)事例

■施設入所措置					
123	施設入所措置	1.あり	2.なし	3.措置予定中	
124	施設種別	1.児童養護	2.児童自立	3.情短	4.里親 5.障害関係 6.その他
125	親権者の同意(法27/1/3号)	1.同意	2.不同意	3.確認中	
126	児福法28条の申請	1.あり	2.なし	3.検討中	
127	児福法28条の承認	1.承認	2.却下	3.申し立て中	4.取り下げ
129	接触制限の有無	1.措置先の秘匿	2.通信・面会の制限	3.検討中	4.制限なし
130	接近禁止命令	1.あり	2.なし	3.検討中	
131	児福法33条の6請求(親権喪失の宣告)	1.あり	2.なし	3.検討中	
132	親権喪失の宣告	1.宣告	2.却下	3.請求中	4.取り下げ
133	以後の保護者指導	1.児童福祉司指導	2.継続指導		
■警察・刑事告訴関係					
134	初動から連絡・連携	1.あり	2.なし		
135	児童買春・児童ポルノ法通報	1.あり	2.なし	3.検討中	
136	その他警察への通報・相談	1.あり	2.なし	3.検討中	
137	事情聴取の付添い	1.あり	2.なし	3.部分的	
138	刑事告訴	1.あり	2.なし	3.検討中	
139	刑事告発	1.あり	2.なし	3.検討中	
140	刑事告発 児童福祉法違反	1.あり	2.なし	3.検討中	
141	刑事告発 青少年保護条例	1.あり	2.なし	3.検討中	
142	少年法による対応	1.あり	2.なし	3.検討中	
143	警察・検察への上申書の提出	1.あり	2.なし		
144	上申書の内容				
145	告訴・告発時の弁護士付添い	1.あり	2.なし		
146	その後の経過	1.捜査中	2.逮捕	3.起訴	4.不起訴 5.示談・取り下げ 6.公判中 7.有罪 8.無罪
■子ども問題行動・問題症状の有無 ※「あり」が該当する欄に「1」と数字を記入して下さい					
147	問題・症状	1.在宅時	2.一保時	3.施設	4.帰宅後
148	PTSD PTSD様症状				
149	解離 解離様状態				
150	パニック・興奮・暴力				
151	気分変動・うつ状態				
152	不眠・心身症状				
153	その他精神科問題				
154	不登校・閉じこもり				
155	自傷行為 自殺企図				
156	過剰・仮性適応の疑い				
157	多重被害問題				
158	性被害問題				
159	家出・無断外出				
160	暴言・暴力・いじめ加害				
161	夜間徘徊・虞犯行為				
162	万引き・盗み				

個票 A 相談受理時在家(別件保護中を含む)事例

163	シンナー・薬物				
164	児童買春・援助交際				
165	その他の性的問題				
166	その他( )				
167	はじめの施設からの措置変更	1.あり 2.なし			
168	措置変更先	1.児童養護 2.児童自立 3.情短 4.里親 5.障害関係 6.その他( )			
169	家庭裁判所への送致	1.あり 2.なし 3.検討中			
170	家庭裁判所の監護措置	1.あり 2.なし			
171	警察からの家裁送致	1.あり 2.なし 3.予定中			
172	家庭裁判所の監護措置	1.あり 2.なし			
173	審判等の結果	1.審判不開始 2.審理中 3.少年院送致 4.児童自立支援施設送致 5.児相送致 6.保護観察 7.監護措置中			

■施設からの引き取り 措置解除(平成 23 年度～平成 24 年度 4 月末)

174	措置解除の有無	1.あり 2.なし
175	措置解除先	1.もとの家庭 2.加害者のいない自宅 3.親族宅 4.その他
176	措置解除の理由	1.子どもの安全が確保された 2.保護者の強い希望 3.子どもの強い希望 4.施設の受け入れ困難 5.無外のまま戻らず調整 5.その他
177	以後の対応	1.あり 2.なし
178	対応	1.児童福祉司指導 2.継続指導 3.見守り・情報収集 4.終結
179	引き取り後の問題再発	1.あり 2.疑い 3.不明 4.無し 5.別の問題( )

180

子の安全についての総括評価(印象 5 段階)

まだ危険 再被害の危 険性あり					安全 再被害の危 険性無し
-----------------------	--	--	--	--	---------------------

A票はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

**個 票 B - 1 施設入所後に性被害発覚・発生(一時保護した) 家族・親族からの性被害事例**

No(B )—B-1

<b>■一時保護</b>		
31	理由	1.安全確保と調査のため 2.措置同意の取り消しに対処するため
32	一時保護の保護者の同意	1.当初、同意による保護 2.当初、職権による保護
33	発覚からの経過： 発覚から	日目
34	一時保護の期間(総日数)	日 保護継続中 (基準日：平成 年 月末日)
<b>■保護者への事実告知と一時保護の告知面接の実施について</b>		
35	面接の実施	1.実施 2.未実施(電話告知) 3.(郵便通知) 4.他( )
36	面接の相手 親族加害の場合	1.虐待者と非加害親同席 2.虐待者のみ 3.非加害親のみ 4.その他( )
37	がいドライ冊子の使用	1.「保護者のために」使用 2.一部改変して使用 3.独自冊子使用 4.使用せず
<b>■子どもへの被害確認調査について</b>		
38	被害事実確認面接の実施	1.あり 2.なし(初期調査情報のみ) ※「あり」の場合 Q41～「なし」Q40のみ
39	発覚から	日目
40	2.なしの場合	1.必要無い(被害確認できている) 2.面接技術者が不足 3.面接技術者不在
41	面接法	1.NICHHD 2.RATAC® 3.その他技法( ) 4.慎重に設定された面接 5.一般的な調査面接
42	被害事実確認面接回数	1. 1回 2.( )回
43	被害確認面接実施場所	1.一時保護所 2.児相 3.その他の場所( )
44	面接の実施者	1.担当児童福祉司 2.担当児童心理司 3.担当外の児童福祉司 4.担当外の児童心理司 5.警察官 6.検事 7.他( )
45	面接者の設定 人数	1.複数対応 2.単独対応
46	面接者の設定 性別	1.男女混合 2.子どもと同性 3.加害者の性を避ける
47	バックスタッフの設定	1.あり 2.なし ※「あり」の場合 Q48～「なし」は49～
48 m	バックスタッフメンバー	1.児相職員 2.警察関係者 3.その( )
49	記録方法	1.録画・録音+文書おこし 2.録画・録音のみ 3.録音+文書おこし 4.録音のみ 5.メモ記録のみ
50	面接結果	1.性暴力被害事実の開示あり 2.性暴力被害の強い疑い(解離反応等含む) 3.性暴力被害を確認できず 4.性暴力被害無しを確認 5.子どもが調査拒否
51a	面接確認した性暴力被害内容	1.何らかの被害・詳細不明 2.非接触被害 3.接触被害(挿入不明) 4.接触被害(非挿入) 5.接触被害(挿入被害)
52a m	随伴する問題	1.妊娠(中絶) 2.妊娠(出産) 3.性感染症
53a	52a の問題があった際の対応	
54a	被害全体の期間	1.現在も被害継続(危険性含) 2.過去の被害(現在の危険性無し) 3.断続的(再発の危険性あり) 4.1回のみの被害 5.不明
55a	性暴力被害の頻度	1.常態化(可能性含) 2.断続的 3.単回 4.詳細不明
56a	被害の時期	1.入所前 2.入所後 3.入所前か入所後も
57a	児童ポルノ画像等の問題	1.あり 2.なし
58a	被害申告の撤回の有無	1.あり 2.なし

個票 B-1 施設入所後に性被害発覚・発生（一時保護した）家族・親族からの性被害事例

■医学診察			
59	医療診察の実施	1.あり 2.なし ※「あり」の場合 Q60～「なし」は 80～	
60	発覚から	日目	
61	診察科と 担当医師の性別 該当する診療科に○ 男女に○	1.婦人科	1.男 2.女
62		2.精神科	1.男 2.女
63		3.小児科	1.男 2.女
64		4.法医学	1.男 2.女
65		5.泌尿器科	1.男 2.女
66		6.その他	1.男 2.女
67	被害診察の内容	1.性暴力被害についての身体診察 2.身体的虐待被害を含む全身診察 3.精神科・心理面の診察 4.その他( )	
68	被害診察の結果(身体)	1.具体的な被害所見あり 2.被害を疑わせる所見のみ 3.具体的な被害不明・矛盾所見無し 4.矛盾所見あり別な被害の疑い 5.矛盾所見あり被害を否定	
69	被害診察の結果(心身)	1.何らかの被害症状の所見あり 2.被害症状所見なし 3.被害との関係不明の問題・症状あり 4.問題・症状確認せず	
70a	医学診察によって確認された性暴力被害内容	1.何らかの被害・詳細不明 2.非接触被害 3.接触被害(挿入不明) 4.接触被害(非挿入) 5.接触被害(挿入被害)	
71a m	随伴する問題	1.妊娠(中絶) 2.妊娠(出産) 3.性感染症	
72a	71a の問題があった際の対応		
73a	被害全体の期間	1.現在も被害継続(危険性含) 2.過去の被害(現在の危険性無し) 3.断続的(再発の危険性あり) 4.1回のみの被害 5.不明	
74a	性暴力被害の頻度	1.常態化(可能性含) 2.断続的 3.単回 4.詳細不明	
75a	被害の時期	1.入所前 2.入所後 3.入所前から入所後も	
76a	児童ポルノ画像等の問題	1.あり 2.なし	
77a	被害申告の撤回の有無	1.あり 2.なし	
78	医師から子どもへの直接助言	1.あり 2.なし	
79		1.診察結果のみ 2.身体的な発達の健康告知含む	
■ 関係者 面接調査			
80	加害者(疑い)	1.あり 2.なし ※「あり」の場合 Q85へ	
81	非加害保護者	1.あり 2.なし ※「あり」の場合 Q86へ	
82	親以外の家族・同居人	1.あり 2.なし	
83	祖父母・親族	1.あり 2.なし	
84	その他関係者・知人	1.あり 2.なし	
■ 関係者 調査結果			
85	加害者(疑い)	1.加害事実を認める 2.一部加害事実を認める 3.行為は認めるが加害性を認めず 4.事実確認に至らず・全面否認	
86	非加害保護者	1.被害事実を確認する 2.一部被害事実を認める 3.事実は認めても被害を認めず 4.事実確認に至らず・全面否認	
87	その他の関係者から	1.被害事実の有力証言・情報を確認 2.被害事実を疑わせる情報を確認 3.被害事実に否定的な情報を確認 4.有力情報なし	
88	家庭内性暴力の場合 パートナー間のDV問題	1.DV 関係あり 2.DV 様支配関係あり(当事者認めずとも) 3.DV 様支配関係の疑い 4.DV 様関係認めず	

個票 B-1 施設入所後に性被害発覚・発生（一時保護した）家族・親族からの性被害事例

■総括被害評価			
89a	確認された被害内容	1.何らかの被害・詳細不明 2.非接触被害 3.接触被害(挿入不明) 4.接触被害(非挿入) 5.接触被害(挿入被害)	
90a m	随伴する問題	1.妊娠(中絶) 2.妊娠(出産) 3.性感染症	
91a	90a の問題があつた際の対応		
92a	被害全体の期間	1.現在も被害継続(危険性含) 2.過去の被害(現在の危険性無し) 3.断続的(再発の危険性あり) 4.1回のみの被害 5.不明	
93a	性暴力被害の頻度	1.常態化(可能性含) 2.断続的 3.単回 4.詳細不明	
94a	被害の時期	1.入所前 2.入所後 3.入所前から入所後も	
95a	児童ポルノ画像等の問題	1.あり 2.なし	
96a	被害申告の撤回の有無	1.あり 2.なし	
97	初発被害から発覚まで	概ね 年	か月
■非加害保護者対応			
98	非加害保護者への支援	1.特に意識して実施 2.一般相談として実施	
99	がくドライん冊子の使用	1.使用した 2.一部改変して使用 3.別のものを使用 4.使用せず	
100	被害児支援について	1.積極的に支援 2.一部制限付き支援 3.葛藤・拒否感あり 4.拒否	
□加害者がパートナー・家族・親族であった場合 非加害保護者の態度・行動			
101	加害者排除について	1.加害者を積極的に排除・離別 2.加害者と一時的に別居・交流停止 3.加害者排除せず・できず 4.加害者を積極的にかばう	
■加害者対応			
102	加害者への接触・対応の有無	1.あり 2.なし	
103	指導形体	1.一般的助言・指導 2.個別カウンセリング 3.グループ指導への参加	
104	加害者の反応	1.指導に従う(積極的～表面的) 2.指導に応じず(消極的～拒否) 3.不安定 4.その他	
■保護者と子どもの接触、措置の変更等について			
105	接触制限の有無	1.保護先の秘匿 2.通信・面会の制限 3.非加害保護者のみ接触 4.検討中 5.制限なし	
106	子どもの身柄の行き先	1.施設継続(Q 107～) 2.措置変更(Q 108～) 3.引き取り(Q 110～) 4.一時保護中 5.その他	
107	施設入所措置の継続	1.あり(親権者同意) 2.あり(28条申立て)	
108	措置変更	1.あり(保護者同意) 2.あり(28条申立て)	
109	措置変更先	1.児童養護 2.児童自立 3.情短 4.里親 5.障害関係 6.その他	
110	引き取り先	1.もとの家庭 2.加害者のいない自宅 3.親族宅 4.その他	
111	引取りの理由 (主たる理由)	1.被害が確証されない 2.子どもが帰宅を強く望んだ 3.無外のまま戻らず調整 4.適切な施設が見当たらず 5.子どもの安全が確保された 5.その他	
112	以後の対応	1.児童福祉司指導 2.継続指導 3.調査継続 4.終結	
■施設関係の法的対応			
113	児福法28条の申請	1.あり 2.なし 3.検討中	
114	児福法28条の承認	1.承認 2.却下 3.申し立て中 4.取り下げ	
115	接触制限の有無	1.保護先の秘匿 2.通信・面会の制限 3.検討中 4.制限なし	
116	接近禁止命令	1.あり 2.なし 3.検討中	
117	児福法33条の6請求 (親権喪失の宣告)	1.あり 2.なし 3.検討中	

個票 B-1 施設入所後に性被害発覚・発生（一時保護した）家族・親族からの性被害事例

118	親権喪失の宣告	1.宣告	2.却下	3.請求中	4.取り下げ		
119	家庭裁判所への送致	1.あり	2.なし	3.検討中			
120	家庭裁判所の観護措置	1.あり	2.なし				
121	家庭裁判所の審判結果	1.審判不開始	2.審理中	3.少年院送致	4.児童自立支援施設送致 5.児相送致	6.保護観察	7.監護措置中

■刑事告訴、告発について

122	初動から連絡・連携	1.あり	2.なし				
123	児童買春・児童ポルノ法通報	1.あり	2.なし	3.検討中			
124	その他警察への通報・相談	1.あり	2.なし	3.検討中			
125	事情聴取の付添い	1.あり	2.なし	3.部分的			
126	刑事告訴	1.あり	2.なし	3.検討中			
127	刑事告発（暴行・傷害）	1.あり	2.なし	3.検討中			
128	刑事告発 児童福祉法違反	1.あり	2.なし	3.検討中			
129	刑事告発 青少年保護条例	1.あり	2.なし	3.検討中			
130	少年法による対応	1.あり	2.なし	3.検討中			
131	警察・検察への上申書の提出	1.あり	2.なし				
132	上申書の内容						
133	告訴・告発時の弁護士付添い	1.あり	2.なし				
134	その後の経過	1.捜査中	2.逮捕	3.起訴	4.不起訴	5.示談・取り下げ	
		6.公判中	7.有罪	8.無罪			

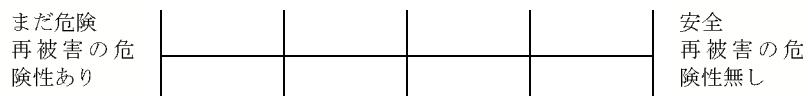
■子ども問題行動・問題症状の有無

※「あり」が該当する欄に「1」と数字を記入して下さい

135	問題・症状	入所前	発覚前施設	一時保護中	戻った施設	措置変先	帰宅後
136	PTSD PTSD様症状						
137	解離 解離様状態						
138	パニック・興奮・暴力						
139	気分変動・うつ状態						
140	不眠・心身症状						
141	その他精神科問題						
142	不登校・閉じこもり						
143	自傷行為 自殺企図						
144	過剰・仮性適応の疑い						
145	性被害問題						
146	多重被害問題						
147	家出・無断外出						
148	暴言・暴力・いじめ加害						
149	夜間徘徊・虞犯行為						
150	万引き・盗み						
151	シンナー・薬物						
152	児童買春・援助交際						
153	その他の性的問題						
154	その他( )						

155

子の安全についての総括評価(印象 5 段階)



B-1 票はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

**個 票 B - 2 施設入所後に性被害発覚・発生(一時保護した)家族・親族以外からの性被害**

No(B )—B·2

<b>■一時保護</b>		
31	理由	1.安全確保と調査のため 2.措置同意の取り消しに対処するため
32	一時保護の保護者の同意	1.同意による保護 2.職権による保護
33	発覚からの経過： 発覚から	日目
34	一時保護の期間(総日数)	日 保護継続中 (基準日：平成 年 月末日)
<b>■保護者への事実報告と一時保護の告知面接の実施について</b>		
35	面接の実施	1.実施 2.未実施(電話告知) 3.(郵便通知) 4.他( )
36	面接の相手	1.保護者全員 2.父のみ 3.母のみ 4.その他( )
37	が「ドライ」冊子の使用	1.「保護者のために」使用 2.一部改変して使用 3.独自冊子使用 4.使用せず
<b>■子どもへの被害確認調査について</b>		
38	被害事実確認面接の実施	1.あり 2.なし(施設調査情報のみ) ※「あり」の場合 Q40～「なし」Q39のみ
39	2.なしの場合	1.必要無い(被害確認できている) 2.面接技術者が不足 3.面接技術者不在
40	1ありの場合 発覚から	日目
41	面接法	1.NICHID 2.RATAC® 3.その他技法( ) 4.慎重に設定された面接 5.一般的な調査面接
42	被害事実確認面接回数	1.1回 2.( )回
43	被害確認面接実施場所	1.一時保護所 2.児相 3.その他の場所( )
44	面接の実施者	1.担当児童福祉司 2.担当児童心理司 3.担当外の児童福祉司 4.担当外の児童心理司 5.警察官 6.検事 7.他( )
45	面接者の設定 人数	1.複数対応 2.単独対応
46	面接者の設定 性別	1.男女混合 2.子どもと同性 3.加害者の性を避ける
47	バックスタッフの設定	1.あり 2.なし ※「あり」の場合 Q48～「なし」の場合 Q49～
48	バックスタッフメンバー	1.児相職員 2.警察関係者 3.その他( )
49	記録方法	1.録画・録音+文書記録 2.録画・録音のみ 3.録音+文書記録 4.録音のみ 5.メモ記録のみ
50	面接結果	1.録画・録音+文書おこし 2.録画・録音のみ 3.録音+文書おこし 4.録音のみ 5.メモ記録のみ
51a	面接確認した性暴力被害内容	1.何らかの被害・詳細不明 2.非接触被害 3.接触被害(挿入不明) 4.接触被害(非挿入) 5.接触被害(挿入被害)
52a m	随伴する問題	1.妊娠(中絶) 2.妊娠(出産) 3.性感染症
53a	52a の問題があった際の対応	
54a	被害全体の期間	1.現在も被害継続(危険性含) 2.過去の被害(現在の危険性無し) 3.断続的(再発の危険性あり) 4.1回のみの被害 5.不明
55a	性暴力被害の頻度	1.常態化(可能性含) 2.断続的 3.単回 4.詳細不明
56a	被害の時期	1.入所前 2.入所後 3.入所前から入所後も
57a	児童ポルノ画像等の問題	1.あり 2.なし
58a	被害申告の撤回の有無	1.あり 2.なし
<b>■医学診察</b>		
59	医療診察の実施	1.あり 2.なし ※「あり」の場合 Q79まで続きます「なし」Q80から
60	発覚から	日目
61	診察科と	1.婦人科 1.男 2.女

個票 B—2 施設入所後に性被害発覚・発生(一時保護した)家族・親族以外からの性被害

62	担当医師の性別 該当する診療科に○ 男女に○	2. 精神科	1.男 2.女	
63		3. 小児科	1.男 2.女	
64		4. 法医学	1.男 2.女	
65		5.泌尿器科	1.男 2.女	
66		6. その他	1.男 2.女	
67		被害診察の内容	1.性暴力被害についての身体診察 2.身体的虐待被害を含む全身診察 3.精神科・心理面の診察 4.実施せず 5.その他( )	
68	被害診察の結果(身体)	1.具体的な被害所見あり 2.被害を疑わせる所見のみ 3.具体的な被害不明・矛盾所見無し 4.矛盾所見あり別な被害の疑い 5.矛盾所見あり被害を否定 6.実施せず		
69	被害診察の結果(心身)	1.何らかの被害症状の所見あり 2.被害症状所見なし 3.被害との関係不明の問題・症状あり 4.問題・症状確認せず 5.実施せず		
70a	医学診察によって確認された性暴力被害内容	1.何らかの被害・詳細不明 2.非接触被害 3. 接触被害(挿入不明) 4.接触被害(非挿入) 5.接触被害(挿入被害)		
71a m	随伴する問題	1.妊娠(中絶) 2.妊娠(出産) 3.性感染症		
72a	71a の問題があった際の対応			
73a	被害全体の期間	1.現在も被害継続(危険性含) 2.過去の被害(現在の危険性無し) 3.断続的(再発の危険性あり) 4.1回のみの被害 5.不明		
74a	性暴力被害の頻度	1.常態化(可能性含) 2.断続的 3.単回 4.詳細不明		
75a	被害の時期	1.入所前 2.入所後 3.入所前から入所後も		
76a	児童ポルノ画像等の問題	1.あり 2.なし		
77a	被害申告の撤回の有無	1.あり 2.なし		
78	医師から子どもへの直接	1.あり 2.なし		
79	助言	1.診察結果のみ • 2.身体的な発達の健康告知含む		
<b>■ 関係者 面接調査</b>				
80	加害者(疑い)	1.あり 2.なし	※「あり」の場合 Q85へ	
81	周囲の関係児童	1.あり 2.なし	※「あり」の場合 Q86へ	
82	施設職員	1.あり 2.なし	※「あり」の場合 Q86へ	
83	その他関係者	1.あり 2.なし	※「あり」の場合 Q86へ	
<b>■ 関係者 調査結果</b>				
84	加害者(疑い)	1.加害事実を認める 3.行為は認めるが加害性を認めず	2.一部加害事実を認める 4.事実確認に至らず・全面否認	
85	その他の関係者から	1.被害事実の有力証言・情報を確認 3.被害事実に否定的な情報を確認	2.被害事実を疑わせる情報を確認 4.有力情報なし	
<b>■ 総括被害評価</b>				
86a	確認された被害内容	1.何らかの被害・詳細不明 4.接触被害(非挿入) 5.接触被害(挿入被害)	2.非接触被害 3. 接触被害(挿入不明)	
87a m	随伴する問題	1.妊娠(中絶) 2.妊娠(出産) 3.性感染症		
88a	88a の問題があった際の対応			
89a	被害全体の期間	1.現在も被害継続(危険性含) 3.断続的(再発の危険性あり)	2.過去の被害(現在の危険性無し) 4.1回のみの被害 5.不明	
90a	性暴力被害の頻度	1.常態化(可能性含) 2.断続的 3.単回 4.詳細不明		

個票 B—2 施設入所後に性被害発覚・発生(一時保護した)家族・親族以外からの性被害

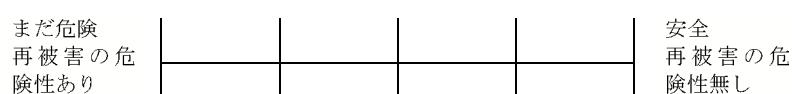
91a	被害の時期	1.入所前      2.入所後      3.入所前から入所後も
92a	児童ポルノ画像等の問題	1.あり      2.なし
93a	被害申告の撤回の有無	1.あり      2.なし
94	初発被害から発覚まで	概ね 年      か月
■子どもの措置の変更等について		
95	子どもの身柄の行き先	1.施設継続(Q 97 ~) 2.措置変更(Q 100 ~) 3.引き取り(Q 102 ~) 4.一時保護中 5.その他
96	施設入所措置の継続	1.あり(親権者同意) 2.あり(28条申立て)
97	加害者排除	1.あり 2.なし 3.検討中 4.一時的に分離 5.困難 6.未定・不明
98	継続の理由	1.加害者排除され子どもの安全が確保された 2.厳重に安全注意・指導 3.加害者の動向把握 4.状況変わらないが子どもが望んだ
99	措置変更	1.あり(保護者同意) 2.あり(28条申立て)
100	措置変更先	1.児童養護 2.児童自立 3.情短 4.里親 5.障害関係 6.その他
101	引き取り先	1.もとの家庭 2.加害者のいない自宅 3.親族宅 4.その他
102	引取りの理由(主たる理由)	1.保護者の強い希望 2.子どもの強い希望 3.施設の受け入れ困難 4.無外のまま戻らず調整 5.その他
103	以後の対応	1.児童福祉司指導 2.継続指導 3.調査継続 4.終結
104	児福法28条の申請	1.あり 2.なし 3.検討中
105	児福法28条の承認	1.承認 2.却下 3.申し立て中 4.取り下げ
106	家庭裁判所への送致	1.あり 2.なし 3.検討中
107	家庭裁判所の観護措置	1.あり 2.なし
108	家庭裁判所の審判結果	1.審判不開始 2.審理中 3.少年院送致 4.児童自立支援施設送致 5.児相送致 6.保護観察 7.監護措置中
■施設内虐待問題としての対応		
109	施設内虐待問題	1.該当し対応開始 2.該当せず対応なし 3.検討中
■保護者支援		
110	保護者への支援	1.すぐに着手 2.途中から着手 3.通常の指導範囲 4.特に試みず
111	ガドolin冊子の使用	1.使用した 2.一部改変して使用 3.別のものを使用 4.使用せず
112	被害児支援について	1.積極的に支援 2.一部制限付き支援 3.葛藤・拒否感あり 4.拒否
■刑事告訴、告発について		
113	初動から連絡・連携	1.あり 2.なし
114	児童買春・児童ポルノ法通報	1.あり 2.なし 3.検討中
115	その他警察への通報・相談	1.あり 2.なし 3.検討中
116	事情聴取の付添い	1.あり 2.なし 3.部分的
117	刑事告訴	1.あり 2.なし 3.検討中
118	刑事告発(暴行・傷害)	1.あり 2.なし 3.検討中
119	刑事告発 児童福祉法違反	1.あり 2.なし 3.検討中
120	刑事告発 青少年保護条例	1.あり 2.なし 3.検討中
121	少年法による対応	1.あり 2.なし 3.検討中
122	警察・検察への上申書の提出	1.あり 2.なし
123	上申書の内容	
124	告訴・告発時の弁護士付添い	1.あり 2.なし

個票 B—2 施設入所後に性被害発覚・発生(一時保護した)家族・親族以外からの性被害

125	その後の経過	1.捜査中 2.逮捕 3.起訴 4.不起訴 5.示談・取り下げ 6.公判中 7.有罪 8.無罪						
<b>■子ども問題行動・問題症状の有無</b> <b>*「あり」が該当する欄に「1」と数字を記入して下さい</b>								
126	問題・症状	入所前	発覚前施設	一時保護中	戻った施設	措置変先	帰宅後	
127	PTSD PTSD 様症状							
128	解離 解離様状態							
129	パニック・興奮・暴力							
130	気分変動・うつ状態							
131	不眠・心身症状							
132	その他精神科問題							
133	不登校・閉じこもり							
134	自傷行為 自殺企図							
135	過剰・仮性適応の疑い							
136	多重被害問題							
137	性暴力被害							
138	家出・無断外出							
139	暴言・暴力・いじめ加害							
140	夜間徘徊・虞犯行為							
141	万引き・盗み							
142	シンナー・薬物							
143	児童買春・援助交際							
144	その他の性的問題							
145	その他( )							

146

子の安全についての総括評価(印象 5段階)



B-2 票はこれで終わりです ご協力ありがとうございました。

## 個票 B-3

## 施設入所後に家族・親族からの性被害が発覚し、発覚後も施設入所を継続した事例

No(B )-B-3

■一時保護をせず、施設入所を継続したまでの対応		
31	理由	1.措置同意の継続が確認された 2.一時保護が困難(委託保護に切り替え)
■保護者と子どもの接触について		
32	制限の有無(継続の場合)	1.許可外泊の制限 2.面会・外出の制限 3.通信の制限 4.制限なし
■子どもへの被害確認調査について		
33	被害事実確認面接の実施	1.あり 2.なし(施設調査情報のみ) ※「あり」の場合 Q35~「なし」Q34のみ
34	2.なしの場合	1.必要無い(被害確認できている) 2.面接技術者が不足 3.面接技術者不在
35	1ありの場合 発覚から	日目
36	面接法	1.NICHD 2.RATAC® 3.その他技法 ( ) 4.慎重に設定された面接 5.一般的な調査面接
37	被害事実確認面接回数	1.1回 2.( )回
38	被害確認面接実施場所	1.一時保護所 2.児相 3.その他の場 ( )
39	面接の実施者	1.担当児童福祉司 2.担当児童心理司 3.担当外の児童福祉司 4.担当外の児童心理司 5.警察官 6.検事 7.他( )
40	面接者の設定 人数	1.複数対応 2.単独対応
41	面接者の設定 性別	1.男女混合 2.子どもと同性 3.加害者の性を避ける
42	バックスタッフの設定	1.あり 2.なし ※「あり」の場合 Q43にお答えください
43	バックスタッフメンバー	1.児相職員 2.警察関係者 3.その他( )
44	記録方法	1.録画・録音+文書おこし 2.録画・録音のみ 3.録音+文書おこし 4.録音のみ 5.メモ記録のみ
45	面接結果	1.性暴力被害事実の開示あり 2.性暴力被害の強い疑い(解離反応等含む) 3.性暴力被害を確認できず 4.性暴力被害無しを確認 5.子どもが調査拒否
46a	面接確認した性暴力被害内容	1.何らかの被害・詳細不明 2.非接触被害 3.接触被害(挿入不明) 4.接触被害(非挿入) 5.接触被害(挿入被害)
47a m	随伴する問題	1.妊娠(中絶) 2.妊娠(出産) 3.性感染症
48a	47a の問題があった際の対応	
49a	被害全体の期間	1.現在も被害継続(危険性含) 2.過去の被害(現在の危険性無し) 3.断続的(再発の危険性あり) 4.1回のみの被害 5.不明
50a	性暴力被害の頻度	1.常態化(可能性含) 2.断続的 3.単回 4.詳細不明
51a	被害の時期	1.入所前 2.入所後 3.入所前から入所後も
52a	児童ポルノ画像等の問題	1.あり 2.なし
53a	被害申告の撤回の有無	1.あり 2.なし
■医学診察		
54	医療診察の実施	1.あり 2.なし ※「あり」の場合 Q74まで続きます
55	発覚から	日目

個票 B-3 施設入所後に家族・親族からの性被害が発覚し、発覚後も施設入所を継続した事例

56	診察科と担当医師の性別 該当する診療科に○ 男女に○	1.婦人科	1.男 2.女
57		2.精神科	1.男 2.女
58		3.小児科	1.男 2.女
59		4.法医学	1.男 2.女
60		5.泌尿器科	1.男 2.女
61		6.その他	1.男 2.女
62	被害診察の内容	1.性暴力被害についての身体診察 2.身体的虐待被害を含む全身診察 3.精神科・心理面の診察 4.その他( )	
63	被害診察の結果(身体)	1.具体的な被害所見あり 2.被害を疑わせる所見のみ 3.具体的な被害不明・矛盾所見無し 4.矛盾所見あり別な被害の疑い 5.矛盾所見あり被害を否定	
64	被害診察の結果(心身)	1.何らかの被害症状の所見あり 2.被害症状所見なし 3.被害との関係不明の問題・症状あり 4.問題・症状確認せず	
65a	医学診察によって確認された性暴力被害内容	1.何らかの被害・詳細不明 2.非接触被害 3.接触被害(挿入不明) 4.接触被害(非挿入) 5.接触被害(挿入被害)	
66a m	随伴する問題	1.妊娠(中絶) 2.妊娠(出産) 3.性感染症	
67a	66a の問題があった際の対応		
68a	被害全体の期間	1.現在も被害継続(危険性含) 2.過去の被害(現在の危険性無し) 3.断続的(再発の危険性あり) 4.1回のみの被害 5.不明	
69a	性暴力被害の頻度	1.常態化(可能性含) 2.断続的 3.単回 4.詳細不明	
70a	被害の時期	1.入所前 2.入所後 3.入所前から入所後も	
71a	児童ポルノ画像等の問題	1.あり 2.なし	
72a	被害申告の撤回の有無	1.あり 2.なし	
73	医師から子どもへの直接助言	1.あり 2.なし	
74		1.診察結果のみ • 2.身体的な発達の健康告知含む	
<b>■ 関係者 面接調査</b>			
75	加害者(疑い)	1.あり 2.なし	※「あり」の場合 Q80へ
76	非加害保護者	1.あり 2.なし	※「あり」の場合 Q81へ
77	親以外の家族・同居人	1.あり 2.なし	
78	祖父母・親族	1.あり 2.なし	※「あり」の場合 Q82へ
79	その他関係者・知人	1.あり 2.なし	
<b>■ 関係者 調査結果</b>			
80	加害者(疑い)	1.加害事実を認める 3.行為は認めるが加害性を認めず	2.一部加害事実を認める 4.事実確認に至らず・全面否認
81	非加害保護者	1.被害事実を確認する 3.事実は認めても被害を認めず	2.一部被害事実を認める 4.事実確認に至らず・全面否認
82	その他の関係者から	1.被害事実の有力証言・情報を確認 3.被害事実に否定的な情報を確認	2.被害事実を疑わせる情報を確認 4.有力情報なし
83	家庭内性暴力の場合 パートナー間のDV問題	1.DV関係あり 3.DV様支配関係の疑い	2.DV様支配関係あり(当事者認めずとも) 4.DV様関係認めず
<b>■ 総括被害評価</b>			
84a	確認された被害内容	1.何らかの被害・詳細不明 4.接触被害(非挿入)	2.非接触被害 5.接触被害(挿入被害)

個票 B-3 施設入所後に家族・親族からの性被害が発覚し、発覚後も施設入所を継続した事例

85a m	随伴する問題	1.妊娠(中絶) 2.妊娠(出産) 3.性感染症
86a	85a の問題があった際の対応	
87a	被害全体の期間	1.現在も被害継続(危険性含) 2.過去の被害(現在の危険性無し) 3.断続的(再発の危険性あり) 4.1回のみの被害 5.不明
88a	被害の時期	1.入所前 2.入所後 3.入所前から入所後も
89a	性暴力被害の頻度	1.常態化(可能性含) 2.断続的 3.単回 4.詳細不明
90a	児童ポルノ画像等の問題	1.あり 2.なし
91a	被害申告の撤回の有無	1.あり 2.なし
92	初発被害から発覚まで	概ね 年 か月
<b>■非加害保護者対応</b>		
93	非加害保護者への支援	1.特に意識して実施 2.一般相談として実施
94	ガドライン冊子の使用	1.使用した 2.一部改変して使用 3.別のものを使用 4.使用せず
95	被害児支援について	1.積極的に支援 2.一部制限付き支援 3.葛藤・拒否感あり 4.拒否
□加害者がパートナー・家族・親族であった場合 非加害保護者の態度・行動		
96	加害者排除について	1.加害者を積極的に排除・離別 2.加害者と一時的に別居・交流停止 3.加害者排除せず・できず 4.加害者を積極的にかばう
<b>■加害者対応</b>		
97	加害者への接触・対応の有無	1.あり 2.なし
98	指導形体	1.一般的助言・指導 2.個別カウンセリング 3.グループ指導への参加
99	加害者の反応	1.指導に従う(積極的～表面的) 2.指導に応じず(消極的～拒否) 3.不安定 4.その他
<b>■保護者と子どもの接触、措置の変更等について</b>		
100	接触制限の有無	1.保護先の秘匿 2.通信・面会の制限 3.非加害保護者のみ接触 4.検討中 5.制限なし
101	子どもの身柄の行き先	1.施設継続(Q 102 ～) 2.措置変更(Q 103 ～) 3.引き取り(Q 109 ～)
102	施設入所措置の継続	1.あり(親権者同意) 2.あり(28条申立て)
103	措置変更	1.あり(保護者同意) 2.あり(28条申立て)
104	措置変更先	1.児童養護 2.児童自立 3.情短 4.里親 5.障害関係 6.その他
105	家庭裁判所への送致	1.あり 2.なし 3.検討中
106	家庭裁判所の観護措置	1.あり 2.なし
107	家庭裁判所の審判結果	1.少年院送致 2.児童自立支援施設送致 3.児相長送致 4.保護観察 5.審判不開始 6.監護措置中
108	引き取り先	1.もとの家庭 2.加害者のいない自宅 3.親族宅 4.その他
109	引取りの理由 (主たる理由)	1.被害が確証されない 2.子どもが帰宅を強く望んだ 3.無外のまま戻らず調整 4.適切な施設が見当たらず 5.子どもの安全が確保された 5.その他
110	以後の対応	1.児童福祉司指導 2.継続指導 3.調査継続 4.終結
<b>■施設関係の法的対応</b>		
111	児福法28条の申請	1.あり 2.なし 3.検討中
112	児福法28条の承認	1.承認 2.却下 3.申し立て中 4.取り下げ
113	接触制限の有無	1.保護先の秘匿 2.通信・面会の制限 3.検討中 4.制限なし
114	接近禁止命令	1.あり 2.なし 3.検討中
115	児福法33条の6請求 (親権喪失の宣告)	1.あり 2.なし 3.検討中

個票 B-3 施設入所後に家族・親族からの性被害が発覚し、発覚後も施設入所を継続した事例

116	親権喪失の宣告	1.宣言	2.却下	3.請求中	4.取り下げ		
117	家庭裁判所への送致	1.あり	2.なし	3.検討中			
118	家庭裁判所の観護措置	1.あり	2.なし				
119	家庭裁判所の審判結果	1.審判不開始	2.審理中	3.少年院送致	4.児童自立支援施設送致 5.児相送致	6.保護観察	7.監護措置中

■刑事告訴、告発について

120	初動から連絡・連携	1.あり	2.なし						
121	児童買春・児童ポルノ法通報	1.あり	2.なし	3.検討中					
122	その他警察への通報・相談	1.あり	2.なし	3.検討中					
123	事情聴取の付添い	1.あり	2.なし	3.部分的					
124	刑事告訴	1.あり	2.なし	3.検討中					
125	刑事告発 (暴行・傷害)	1.あり	2.なし	3.検討中					
126	刑事告発 児童福祉法違反	1.あり	2.なし	3.検討中					
127	刑事告発 青少年保護条例	1.あり	2.なし	3.検討中					
128	少年法による対応	1.あり	2.なし	3.検討中					
129	警察・検察への上申書の提出	1.あり	2.なし						
130	上申書の内容								
131	告訴・告発時の弁護士付添い	1.あり	2.なし						
132	その後の経過	1.捜査中	2.逮捕	3.起訴	4.不起訴	5.示談・取り下げ	6.公判中	7.有罪	8.無罪

■子ども問題行動・問題症状の有無 **※「あり」が該当する欄に「1」と数字を記入して下さい**

133	問題・症状	入所前	現施設入所前	発覚前施設	発覚後施設	措置変・引き取り先
134	PTSD PTSD様症状					
135	解離 解離様状態					
136	パニック・興奮・暴力					
137	気分変動・うつ状態					
138	不眠・心身症状					
139	その他精神科問題					
140	不登校・閉じこもり					
141	自傷行為 自殺企図					
142	過剰・仮性適応の疑い					
143	性被害問題					
144	多重被害問題					
145	家出・無断外出					
146	暴言・暴力・いじめ加害					
147	夜間徘徊・虞犯行為					
148	万引き・盗み					
149	シンナー・薬物					
150	児童買春・援助交際					
151	その他の性的問題					
152	その他( )					

153

子の安全についての総括評価(印象 5 段階)



B-3 票はこれで終わりです ご協力ありがとうございました。

**個 票 B - 4** 施設入所後に家族・親族以外からの性被害が発覚、発覚後も施設入所を継続した事例

No( B )—B-4

■一時保護をせず、施設入所を継続したまでの対応		
■施設入所継続		
31	理由	1.措置同意の継続が確認された 2.一時保護が困難(委託保護に切り替え) 3.子どもの安全が確保されている 4.本人が一時保護に抵抗
■保護者と子どもの接触について		
32	制限の有無(継続の場合)	1.許可外泊の制限 2.面会・外出の制限 3.通信の制限 4.制限なし
■子どもへの被害確認調査について		
33	被害事実確認面接の実施	1.あり 2.なし(施設調査情報のみ) ※「あり」の場合 Q35～「なし」Q34のみ
34	2.なしの場合	1.必要無い(被害確認できている) 2.面接技術者が不足 3.面接技術者不在
35	1ありの場合 発覚から	日目
36	面接法	1.NICHID 2.RATAC® 3.その他技法 ( ) 4.慎重に設定された面接 5.一般的な調査面接
37	被害事実確認面接回数	1. 1回 2.( )回
38	被害確認面接実施場所	1.一時保護所 2.児相 3.その他の場 ( )
39	面接の実施者	1.担当児童福祉司 2.担当児童心理司 3.担当外の児童福祉司 4.担当外の児童心理司 5.警察官 6.検事 7.他( )
40	面接者の設定 人数	1.複数対応 2.単独対応
41	面接者の設定 性別	1.男女混合 2.子どもと同性 3.加害者の性を避ける
42	バックスタッフの設定	1.あり 2.なし ※「あり」の場合 Q43～にお答えください
43	バックスタッフメンバー	1.児相職員 2.警察関係者 3.その ( )
44	記録方法	1.録画・録音+文書おこし 2.録画・録音のみ 3.録音+文書おこし 4.録音のみ 5.メモ記録のみ
45	面接結果	1.性暴力被害事実の開示あり 2.性暴力被害の強い疑い(解離反応等含む) 3.性暴力被害を確認できず 4.性暴力被害無しを確認 5.子どもが調査拒否
46a	面接確認した性暴力被害内容	1.何らかの被害・詳細不明 2.非接触被害 3.接触被害(挿入不明) 4.接触被害(非挿入) 5.接触被害(挿入被害)
47a m	随伴する問題	1.妊娠(中絶) 2.妊娠(出産) 3.性感染症
48a	47a の問題があった際の対応	
49a	被害全体の期間	1.現在も被害継続(危険性含) 2.過去の被害(現在の危険性無し) 3.断続的(再発の危険性あり) 4.1回のみの被害 5.不明
50a	性暴力被害の頻度	1.常態化(可能性含) 2.断続的 3.単回 4.詳細不明
51a	被害の時期	1.入所前 2.入所後 3.入所前から入所後も
52a	児童ポルノ画像等の問題	1.あり 2.なし
53a	被害申告の撤回の有無	1.あり 2.なし
■医学診察		
54	医療診察の実施	1.あり 2.なし ※「あり」の場合 Q74まで続きます
55	発覚から	日目

個票 B-4 施設入所後に家族・親族以外からの性被害が発覚、発覚後も施設入所を継続した事例

56	診察科と担当医師の性別 該当する診療科に○ 男女に○	1. 婦人科	1.男 2.女
57		2. 精神科	1.男 2.女
58		3. 小児科	1.男 2.女
59		4. 法医学	1.男 2.女
60		5.泌尿器科	1.男 2.女
61		6. その他	1.男 2.女
62	被害診察の内容	1.性暴力被害についての身体診察 2.身体的虐待被害を含む全身診察 3.精神科・心理面の診察 4.その他( )	
63	被害診察の結果(身体)	1.具体的な被害所見あり 2.被害を疑わせる所見のみ 3.具体的な被害不明・矛盾所見無し 4.矛盾所見あり別な被害の疑い 5.矛盾所見あり被害を否定	
64	被害診察の結果(心身)	1.何らかの被害症状の所見あり 2.被害症状所見なし 3.被害との関係不明の問題・症状あり 4.問題・症状確認せず	
65a	医学診察によって確認された性暴力被害内容	1.何らかの被害・詳細不明 2.非接触被害 3. 接触被害(挿入不明) 4.接触被害(非挿入) 5.接触被害(挿入被害)	
66a m	随伴する問題	1.妊娠(中絶) 2.妊娠(出産) 3.性感染症	
67a	66a の問題があった際の対応		
68a	被害全体の期間	1.現在も被害継続(危険性含) 2.過去の被害(現在の危険性無し) 3.断続的(再発の危険性あり) 4.1回のみの被害 5.不明	
69a	性暴力被害の頻度	1.常態化(可能性含) 2.断続的 3.単回 4.詳細不明	
70a	被害の時期	1.入所前 2.入所後 3.入所前から入所後も	
71a	児童ポルノ画像等の問題	1.あり 2.なし	
72a	被害申告の撤回の有無	1.あり 2.なし	
73	医師から子どもへの直接助言	1.あり 2.なし	
74		1.診察結果のみ • 2.身体的な発達の健康告知含む	
<b>■ 関係者 面接調査</b>			
75	加害者(疑い)	1. あり 2.なし	※「あり」の場合 Q79へ
76	周囲の関係児童	1.あり 2.なし	※「あり」の場合 Q80へ
77	施設職員	1. あり 2.なし	※「あり」の場合 Q80へ
78	その他関係者	1. あり 2.なし	※「あり」の場合 Q80へ
<b>■ 関係者 調査結果</b>			
79	加害者(疑い)	1.加害事実を認める 3.行為は認めるが加害性を認めず	2.一部加害事実を認める 4.事実確認に至らず・全面否認
80	その他の関係者から	1.被害事実の有力証言・情報を確認 3.被害事実に否定的な情報を確認	2.被害事実を疑わせる情報を確認 4.有力情報なし
<b>■ 総括被害評価</b>			
81a	確認された被害内容	1.何らかの被害・詳細不明 4.接触被害(非挿入)	2.非接触被害 3. 接触被害(挿入不明) 5.接触被害(挿入被害)
82a m	随伴する問題	1.妊娠(中絶) 2.妊娠(出産) 3.性感染症	
83a	82a の問題があった際の対応		
84a	被害全体の期間	1.現在も被害継続(危険性含) 3.断続的(再発の危険性あり)	2.過去の被害(現在の危険性無し) 4.1回のみの被害 5.不明
85a	性暴力被害の頻度	1.常態化(可能性含)	2.断続的 3.単回 4.詳細不明

個票 B-4 施設入所後に家族・親族以外からの性被害が発覚、発覚後も施設入所を継続した事例

86a	被害の時期	1.入所前      2.入所後      3.入所前から入所後も
87a	児童ポルノ画像等の問題	1.あり      2.なし
88a	被害申告の撤回の有無	1.あり      2.なし
89	初発被害から発覚まで	概ね 年 か月
<b>■施設における子どもの安全確保</b>		
90	加害者排除	1.あり    2.なし    3.検討中    4.一時的に分離    5.困難    6.未定・不明
91	加害者への関与	1.指導・治療    2.監視・注意配慮    3.不能・不明
92	継続の理由	1.加害者排除され子どもの安全が確保された    2.厳重に安全注意・指導 3.加害者の動向把握    4.状況変わらないが子どもが望んだ
<b>■保護者支援</b>		
93	保護者への支援	1.特に意識して実施    2.一般相談として実施
94	ガイドライン冊子の使用	1.使用した    2.一部改変して使用    3.別のものを使用    4.使用せず
95	被害児支援について	1.積極的に支援    2.一部制限付き支援    3.葛藤・拒否感あり    4.拒否
<b>■保護者と子どもの接触、措置の変更等について</b>		
96	接触制限の有無	1.保護先の秘匿    2.通信・面会の制限    3.非加害保護者のみ接触 4.検討中    5.制限なし
97	子どもの身柄の行き先	1.施設継続(Q98へ)    2.措置変更(Q 99へ)    3.引き取り(Q 101)
98	施設入所措置の継続	1.あり(親権者同意)    2.あり(28条申立て).
99	措置変更	1.あり(保護者同意)    2.あり(28条申立て)
100	措置変更先	1.児童養護    2.児童自立    3.情短    4.里親    5.障害関係    6.その他
101	引き取り先	1.もとの家庭    2.加害者のいない自宅    3.親族宅    4.その他
102	引取りの理由 (主たる理由)	1.被害が確証されない    2.子どもが帰宅を強く望んだ 3.無外のまま戻らず調整    4.適切な施設が見当たらず 5.子どもの安全が確保された    5.その他
103	以後の対応	1.児童福祉司指導    2.継続指導    3.調査継続    4.終結
<b>■施設関係の法的対応</b>		
104	児福法28条の申請	1.あり    2.なし    3.検討中
105	児福法28条の承認	1.承認    2.却下    3.申し立て中    4.取り下げ
106	接触制限の有無	1.保護先の秘匿    2.通信・面会の制限    3.検討中    4.制限なし
107	接近禁止命令	1.あり    2.なし    3.検討中
108	児福法33条の6請求(親権喪失の宣告)	1.あり    2.なし    3.検討中
109	親権喪失の宣告	1.宣告    2.却下    3.請求中    4.取り下げ
110	家庭裁判所への送致	1.あり    2.なし    3.検討中
111	家庭裁判所の観護措置	1.あり    2.なし
112	家庭裁判所の審判結果	1.審判不開始    2.審理中    3.少年院送致    4.児童自立支援施設送致 5.児相送致    6.保護觀察    7.監護措置中
<b>■刑事告訴、告発について</b>		
113	初動から連絡・連携	1.あり    2.なし
114	児童買春・児童ポルノ法通報	1.あり    2.なし    3.検討中
115	その他警察への通報・相談	1.あり    2.なし    3.検討中
116	事情聴取の付添い	1.あり    2.なし    3.部分的
117	刑事告訴	1.あり    2.なし    3.検討中

個票 B-4 施設入所後に家族・親族以外からの性被害が発覚、発覚後も施設入所を継続した事例

118	刑事告発 (暴行・傷害)	1.あり	2.なし	3.検討中		
119	刑事告発 児童福祉法違反	1.あり	2.なし	3.検討中		
120	刑事告発 青少年保護条例	1.あり	2.なし	3.検討中		
121	少年法による対応	1.あり	2.なし	3.検討中		
122	警察・検察への上申書の提出	1.あり	2.なし			
123	上申書の内容					
124	告訴・告発時の弁護士付添い	1.あり	2.なし			
125	その後の経過	1.捜査中	2.逮捕	3.起訴	4.不起訴	5.示談・取り下げ 6.公判中
		7.有罪	8.無罪			

■子ども問題行動・問題症状の有無 **※「あり」が該当する欄に「1」と数字を記入して下さい**

126	問題・症状	入所前	現施設入所前	発覚前施設	発覚後施設	措置変・引き取り先
127	PTSD PTSD 様症状					
128	解離 解離様状態					
129	パニック・興奮・暴力					
130	気分変動・うつ状態					
131	不眠・心身症状					
132	その他精神科問題					
133	不登校・閉じこもり					
134	自傷行為 自殺企図					
135	過剰・仮性適応の疑い					
136	性被害問題					
137	多重被害問題					
138	家出・無断外出					
140	暴言・暴力・いじめ加害					
141	夜間徘徊・虞犯行為					
142	万引き・盗み					
143	シンナー・薬物					
144	児童買春・援助交際					
145	その他の性的問題					
146	その他( )					

147

子の安全についての総括評価(印象 5段階)

まだ危険 再被害の危 険性あり					安全 再被害の危 険性無し
-----------------------	--	--	--	--	---------------------

B-4 票はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

## 個票 B …施設入所後に過去・現在の性暴力被害が発覚した事例 No( )

■相談受理時点で既に施設入所中で、性的問題(児童間の性被害含む)が途中発覚した事例について					
No.	設問内容	回答欄 (あてはまるものに○、または記述)			
<b>■基本情報</b>					
1	最初の問題発覚時期	1.平成 23 年度中に発覚 2.平成 23 年度以前に発覚、継続中			
2	施設種別	1.児童養護 2.児童自立 3.情短 4.里親 5.障害関係 6.その他			
3	主たる被害の種類	1.性的虐待 2.家庭内性暴力被害(親族、同居状態の加害者からの被害含) 3.家庭外性暴力被害(家族・親族以外で同居していない加害者からの被害) 4.別件一時保護中の家庭外性暴力被害 5.不特定者からの被害 6.その他重複被害( )			
4 m	今回の性暴力被害以外の問題 *A 表との照合性のため同じ項目表記	虐待	1.身体的虐待 2.ネグレクト 3.心理的虐待 4.DV 問題		
		その他	5.養育困難 6.障害問題(知的) 7.(身体) 8.(聴覚) 9.(視覚) 10.(重心) 11.(発達障害) 12.(自閉) 13.6~11 以外の障害( ) 14.性格・行動 15.育成 16.非行 17.その他( )		
5	特別な随伴問題(有に○)	1.児童ポルノ・画像問題(疑い含む) 2.児童買春・援助交際(疑い含む)			
6	相談受理時の年齢	歳	か月 ←全事例：性暴力問題での受理時の年齢(年度に関係なく)		
7	前年度からの事例:23 年 4 月 1 日	歳	か月 ←23 年 4 月 1 日時点の年齢 <u>※Q.8 と 9 にも記入</u>		
8	相談受理時の年齢区分	1.0~3 歳未満 2.3 歳~就学前 3.小学 1~3 年 4.小学 4~6 年 5.中学生 6.高校生・その他中卒年齢			
9	前年度からの事例 平成 23 年 4 月 1 日時点での年齢区分 <u>※Q.7 のケース</u>	1.0~3 歳未満 2.3 歳~就学前 3.小学 1~3 年 4.小学 4~6 年 5.中学生 6.高校生・その他中卒年齢			
10	性別	1.女性 2.男性			
11 m	加害者の区分(疑い含む) (※複数回答可)	1.実父 2.養父 3.継父 4.内縁男性 5.きょうだい男性 6.祖父 7.おじ 8.その他親族男性 9.同居人男性 10.実母 11.養母 12.継母 13.内縁女性 14.きょうだい女性 15.祖母 16.おば 17.その他親族女性 18.同居人女性 19.その他養育関係者(里親含)男性 20.その他養育関係者(里親含)女性 30.教育関係者(成人男性) 31.教育関係者(成人女性) 32.教育関係者(児童男性) 33.教育関係者(児童女性) 40.施設関係者(成人男性) 41.施設関係者(成人女性) 42.施設関係者(児童男性) 43.施設関係者(児童女性) 50.家族・親族・関係者以外の顔見知り男性 51.見知らぬ男性 52.家族・親族・関係者以外の顔見知り女性 53.見知らぬ女性 60.詳細不明男性(単数) 61.詳細不明男性(複数) 62.詳細不明女性(単数) 63.詳細不明女性(複数)			
		12	被害者と加害者の居住・接触程度	1.同施設内で生活 2.過去に同施設内で生活 3.生活場所は異なるが日常的に頻繁に接触 5.生活場所は異なるが定期・不定期に接触 6.ごくたまに接触 7.接触程度不明	
		13	性暴力被害の発覚経路	1.保育所・幼稚園・学校 2.福祉事務所 3.児童本人 4.家族 5.親戚 6.近隣・知人 7.友人 8.児童委員 9.保健所・保健センター 10.医療機関 11.児童福祉施設 12.警察 13.その他( )	

個票 B 施設入所後に過去・現在の性暴力被害が発覚した事例

14	当初の被害発覚内容	1.具体的な被害事実の告白 2.曖昧な被害の疑い告白のみ 3.周辺・関連情報からの疑い 4.問題行動から 5.目撃・物証から
15	発覚から児相に通報されるまでの時間	1.即座 2.1週間以内 3.週目
16a*	発覚時点での性暴力被害内容	1.何らかの被害・詳細不明 2.非接触被害 3.接触被害(挿入不明) 4.接触被害(非挿入) 5.接触被害(挿入被害)
17a m	随伴する問題	1.妊娠(中絶) 2.妊娠(出産) 3.性感染症
18a	17a の問題があった際の対応	
19a	被害全体の時期・期間	1.現在も被害継続(危険性含) 2.過去の被害(現在の危険性無し) 3.断続的(再発の危険性あり) 4.5.不明
20a	性暴力被害の頻度	1.常態化(可能性含) 2.断続的 3.単回 4.詳細不明
21a	被害の時期	1.入所前 2.入所後 3.入所前から入所後も
22a	児童ポルノ画像等の問題	1.あり 2.なし
23a	被害申告の撤回の有無	1.あり 2.なし
■児童相談所としての対応と初期調査		
24	発覚からの経過時間	日目
25	対応について	1.新たに相談受理 2.他の相談経過中の課題として扱う
26	所としての協議	1.所としての対応会議開催 2.担当レベルだけで協議
27	施設内の調査	1.あり 2.なし
28	具体的な性暴力被害の確認	1.あり 2.なし
29	児相の初期調査・確認方法	1.児相が直接確認 2.施設に間接確認依頼 3.当面周辺調査
30	一時保護の実施	1.あり →個票B-1 - 2へ 2.なし →個票B-3 - 4へ

◎ これより先の調査について

- 施設入所中に性的虐待が発覚し、一時保護となった場合、および別件で施設から一時保護した後に性被害が発覚あるいは発生した場合、

家族・親族からの性暴力被害の場合、 **個票B-1**へのご回答をお願いします。

家族・親族以外からの性暴力被害の場合 **個票B-2**へのご回答をお願いします。

- 施設入所中に性的虐待が発覚した事例の中で、そのことを理由に一時保護せず、入所を継続した場合、

家族・親族からの性暴力被害の場合、 **個票B-3**へのご回答をお願いします。

家族・親族以外からの性暴力被害の場合 **個票B-4**へのご回答をお願いします。